

少年の主張

思い思いの意見を発表

可児市大会

6月13日「少年の主張可児市大会 私の主張2009」が福祉センターで行われ、市内中学校の代表者が社会に向けての意見などを発表しました。内容の一部を紹介します。

最優秀賞

「友だち」

栗田 志生さん（蘇南中2年）



僕とAちゃんは、小学四年生からの大の仲良しです。

僕たちは、昨年中学生になりましたが、クラスも部活も違うのであまり会うことも無くなりました。

ゴールデンウィークが終わった頃、僕はAちゃんが学校に来ていないことを知りました。僕は、頭を何かで殴られたくらいのショックを受けました。

そして、BさんとAちゃんを迎えに行くなどの作戦を立て、実行しました。

一年生になって、Aちゃんが学校に来るようになったある日、一緒に下校していると、Aちゃんが突然言ったのです。「僕、これからがんばるよ。」

一年生の時はずっと学校になかったAちゃんが、今ではもうほとんど毎日、学校に来るようになりました。

「僕の大切な友だち、Aちゃん。これから一緒にがんばろう。」

優秀賞

「胸を張って生きるために」

山口 美緒さん（西可児中2年）



私は、環境フェスタに参加し、心がきれいな人たちが、「環境を守りたい！」

という気持ちのある人がたくさんいることを、とてもうれしく思いました。ボランティア活動に積極的に参加し、「いつも多くのごみを拾った。」

・家庭でできるリサイクルやエコに心がけること。
・環境に関わるイベントに参加して環境を守ろうと頑張っている学生や大人の姿を心に残すこと。

など皆さんもぜひ、小さなことから始めてみませんか。一人でも多く、胸を張って生きることができるよう。

そして、地球が、人の心が、少しでも美しくなるように。

優秀賞

「自然を見つめる瞳」

日比野 直さん（中部中2年）



僕の趣味は、鳥の写真を撮ることです。

ある日、とてもよい鳥の写真が撮れたと思って、後で見ると、バックにごみが写っていたのです。せっかくの写真、いや鳥が台無しになってしまった気がしました。

心ない人の心ない行いによって、胸

を張って誇れる自然を壊してしまっているのです。

誰もが、自然の美しさに気づき、心を奪われる「自然を見つめる瞳」を持つことができれば、私たちの町、可児の川や森から、きつごみがなくなると信じます。

奨励賞

- 馬場 秀幸さん（西可児中）
- 和久田 紫野さん（蘇南中）
- 河合 晴香さん（中部中）
- 堀尾 和輝さん（帝京大学可児中）
- 山本 帆南さん（広陵中）
- 伊藤 諒也さん（東可児中）
- 佐野 空さん（東可児中）
- 荒川 真行さん（広陵中）
- 安藤みちるさん（帝京大学可児中）

※発表順



発表者全員の記念撮影



その気持ちをいつまでも 善行少年1人と9団体を表彰

「少年の主張大会」と併せて、善行少年の表彰式が行われました。みんなの手本となる思いやりのある優しい気持ちを、温かい社会の中で育みましょう。



中部中学校吹奏楽部

地域の公民館祭りに毎年参加し、地域の皆さんに日ごろの成果を披露し、感謝を与えています。

中部中学校生徒会

地域貢献活動に全校生徒が積極的に取り組むとともに、給食残量ゼロ活動にも真剣に取り組む、成果をあげ、「食の大切さ」を見直しました。

中部中学校特別支援学級

種から育てた草花で学校周辺の環境美化に貢献したり、公共施設や地域住民に提供したりして大変喜ばれています。

蘇南中学校吹奏楽部

地域の公民館祭りや各種の地域行事の要請に快く応じて演奏を披露し、行事を盛り上げるなどその活動が大変喜ばれています。

西可児中学校1学年地域ボランティア

1学年のクラス単位で、公共施設の清掃活動とごみの分別作業を行いました。また、老人福祉センターを訪れ、合唱を披露するなど交流を深め、大変喜ばれました。

西可児中学校部活ボランティア

可児川一斉清掃に毎年参加しており、昨年度は12の部活から過去最高の210人の生徒が参加し、今後さらに飛躍できる実績を残しました。

春里小学校区清水ヶ丘子ども会 春里小学校区塩河子子ども会

遠距離徒歩通学の児童のために設置された「公衆トイレ」の清掃活動を多年にわたり続けており、よい伝統になっています。清掃活動を通して、美しい心や感謝の気持ちが培われ、児童の健全育成に貢献しています。

広見小学校区しらぎ子ども会

10年以上にわたり3日間の年末夜警を続けています。また、夏休みのラジオ体操を地域の皆さんにも呼びかけ、大人もカードを持って参加し、ふれあいを大切にしています。

加川喜兆さん（帷子小学校2年）

ベビーカーをひいて散歩している人が道路を横断しようとした際、進んで持っていた旗を上げ、安全に渡してあげました。ドライバーにも頭を下げ、笑顔で応える美しい姿が感動を与えました。

